

平成22年12月 和寒高等学校跡地に (新校舎での授業開始は3学期から)

特集

和寒中学校が移転します

昭和23年12月に松岡地区に建設され、永い歴史と伝統を築いてきました和寒中学校が、平成22年12月に和寒高校跡地に移転します。

和寒高等学校から和寒中学校へ

平成22年3月末をもって閉校しました北海道立和寒高等学校の跡地活用について、これまで、学校跡地活用懇話会やPTA、地域など各関係機関と協議の結果、中学校として活用することに決定しました。現在、中学校として活用するため、改修工事が行われ移転準備が進められています。

和寒中学校工事の概要について

中学校として活用するため、実際に使用する先生方の意見や要望を取りまとめ、7月から工事を着工しています。

工事内容については、中学校の教育課程で必要となる特別教室（技術室・音楽室・美術室）の整備、管理部分（職員室・校長室・教材室等）の改修工事を行います。

既存暖房機・蒸気ボイラーを撤去し、現在利用しているFF式暖房機を移設取付し、暖房機の取り替えを行います。又、トイレに電気パネルヒーターを設置します。給食搬入搬出口の整備、各教室網戸新設、防犯設備改修、階段での転落防止ため手摺りの高さを高くし、普通教室にも、落下防止用窓手摺りを設置します。

門柱を塗装塗替し、校章・門柱校名板を新設します。

外構工事では、駐車場の増設、グランド整備、通路舗装、防犯灯整備等の工事を行います。

また、道教育委員会では、屋根、外壁塗装等工事を行い、工事終了後、12月初旬に和寒町へ施設譲渡の予定となっています。

引越の時期については、2学期終了後に引越を行い、3学期から授業を開始する予定で進めています。

- 工事名
中学校移転改修工事
中学校移転外構工事
- 校舎
47,439,000円（改修工事）
23,152,500円（外構工事）
- 工期
平成23年1月まで
（外構工事はH22.11まで）
- 施工業者
株式会社浜田組



旧和寒高校校舎

中学校跡地活用

移転後の現中学校跡地をどのように活用するかが、大きな課題になっています。

施設の活用方法を検討するため、町内の各団体や有識者ら13名を委嘱し、和寒中学校跡地利用検討委員会を設置、今後有効活用に向けて検討していきます。

委員会では、広く町民の皆さんから、ご意見やアイデアを募集しております。また、和寒町のホームページなどを通じて、町内外に広く活用を募集していますので、ぜひ教育委員会へご一報願います。



現中学校校舎

- 校舎
昭和47年建築
鉄筋コンクリート造
3階建
- 体育館
昭和49年12月建築
- 第2体育館
昭和58年7月建築

新利寒中学校校舎の平面図

